

修士論文（要旨）

2015年1月

中国と日本の高齢者の社会参加に関連する要因

指導 杉澤 秀博 教授

老年学研究科

老年学専攻

213J6008

馬琳

Master' s Thesis(Abstract)

January 2015

Factors Associated with Social Participation in Elderly Chinese and Japanese Urban
Residents

MA LIN

213J6008

Master' s Program in Gerontology

Graduate School of Gerontology

J.F Oberlin University

Thesis Supervisor: Hidehio Sugisawa

目次

I. はじめに.....	1
1. 研究背景.....	1
2. 社会参加の定義と種類	1
3. 社会参加の要因.....	2
II. 研究の目的.....	4
III. 調査および分析方法	4
1. 調査対象及び調査方法	4
2. 測定内容.....	4
3. 分析方法.....	7
4. 倫理的配慮.....	7
IV. 研究結果.....	7
1. 中国.....	7
2. 日本.....	9
3. 日中比較.....	11
V. 考察.....	12
1. 本研究における社会参加のとらえ方	12
2. 社会参加に影響を及ぼす要因	12
3. 研究の限界と課題	15
VI. 謝辞.....	15

参考文献

資料

I. はじめに

中国の人口高齢化はすべての発展途上国の中で最速である。一人っ子政策が導入された結果として、高齢化はより一層急速に進行していくと考えられる。このような社会的背景のもと、高齢者は健康を維持し、可能な限り長期にわたって自立した日常生活を送ること、また地域との繋がりを持ち続けることが期待される。高齢者の社会参加の推進は、以上のような高齢者に対する社会の期待に応えるために重要な役割を果たす。すなわち、高齢者の「生きがい」形成とともに、生活機能の向上、精神的・社会的な健康状態の維持にもつながる極めて重要なことであると認識されている。しかし、中国においては、高齢者の社会参加推進のためにどのような施策が必要か、その基礎的資料となる社会参加に関連する要因の解明が遅れている。さらに、その要因がどの程度普遍的か、比較文化的な検討もほとんどない。

II. 研究目的

本研究の目的は、中国都市部における高齢者の社会参加に関連する要因を明らかにすることである。さらに、中国における結果を、日本の都市に居住する高齢者を対象とした調査の結果と比較し、中国における高齢者の社会参加の関連要因の特徴を明らかにする。

III. 研究方法

1. 対象者：1) 中国：中国天津市紅橋区に在住する 60 歳以上の高齢者 95,000 人から住民名簿を利用して無作為に 300 名（抽出確率は 0.32%）を抽出した。2014 年 8 月 15 日～31 日にかけて、対象者に自記式調査票を訪問配布、訪問回収した結果、260 人から回答が得られた。2) 日本：2012 年 2 月に「社会連帯の形成・維持機構の解明」研究班が行った「地域環境に対する住民の評価に関する調査」のデータベースを用いた。この調査は、東京都足立区に居住する 50 歳以上の住民を対象とし、自記式調査票に基づき郵送法によって行った。分析は中国と比較可能なように 60 歳以上の高齢者のみを対象とした。

2. 分析項目：1) 社会参加：個人的活動への参加と組織的活動への参加の 2 つの指標で評価した。日中比較は、日本のデータがある組織活動への参加について行った。2) 要因：基本属性、健康要因、心理的要因、社会階層的要因、社会関係的要因および地域環境的要因を要因の候補として測定した。

3. 分析方法：2 種類の社会参加の指標をそれぞれ従属変数、要因群を独立変数として重回帰分析を行った。さらに、「要因×国」という交互作用項を投入することで、要因の効果の日中の違いを評価した。

IV. 結果

1. 中国：組織的活動への参加については、男性、健康度自己評価が良い者、通院者、対人的ストレスが低い者、社会参加への態度が積極的な者、地域への愛着が低い者、出身地から離れている者で有意に活発であった。個人的活動への参加については、IADL 得点が高い者、健康度自己評価が良い者、通院者、世帯年収が高い者、近距離・遠距離親族が多い者、居住年数が短い者、地域への満足度が高い者、年齢が若い者で有意に活発であった。

2. 日本：組織的活動への参加は、健康度自己評価が良い、近距離・中遠距離友人数が多い人で活発であった。

3. 日中比較：中国では日本よりも、健康度自己評価、通院が組織的活動の参加を高める効果、出身地（現住所との距離が長くなるほど参加が高まる）、地域の愛着（高いほど参加

が低くなる)が組織的活動への参加に与える効果が有意に強かった。近距離友人数が組織的活動への参加を促す効果が日本では中国よりも有意に強いという結果であった。

V. 考察

基本属性については、中国では女性より男性のほうは組織的活動への参加が活躍である。高齢期に入って就労から離れた男性は、その役割や地位の喪失感を補う目的で、就業以外の組織的な活動への参加を行っているのではないと思われる。中国と日本のいずれも、就労が社会参加に与える効果は有意でなく、退職で増えた自由時間が必ずしも他の社会参加活動に充てられ、社会参加の促進に結びついていないことが示唆された。

通院については、中国では通院者が組織的活動および個人的活動への社会参加点数が有意に高かった。このことは、中国の高齢者にとって通院先が、病院で会う人と会話をしたりするなど個人的活動の社会参加の機会となったり、このような活動を通じた人間関係の広がりを通じて、組織的な活動への社会参加が促進されている可能性が示唆された。

世帯年収に関しては、中国でのみ収入が個人的な活動への参加点数に有意な効果をもっていた。日本では、高齢者の間に経済格差が大きいとはいえ、社会活動への支出ができないくらいに貧しい高齢者が少なく、その結果、収入が社会参加に与える効果が弱いという結果が得られたと思われる。

地域環境的要因については、中国では、現在の住所が中学校卒業の居住地から遠いほど組織的活動への参加が活発的であり、先行研究とは逆の方向性で関連が見られた。このことは、中国の国情と関連していると考えられる。改革開放以来、中国の都市化は速く猛烈であった。都市の開発が進んでいくに従って、市民が平屋からアパートに引っ越すという現象が生じた。それゆえ、新しい地域に引っ越した者は、地域社会への溶け込むために、意識的に組織的活動に参加していると推測できる。中国では居住年数がより短い者が個人的活動に、地域への愛着得点がより低い者が組織的活動に活発に参加するという結果も、引っ越し経験と関連していると考えられる。本研究の分析対象者では引っ越した経験のある者が多いため、居住年数がより短く、地域への愛着得点が低くなっている。だからこそ、地域に溶け込むために、組織的な活動への参加を行っているともみることができる。

中日間の関連要因の違いについては、中国では、居住年数や地域への愛着といった地域環境要因が組織的活動への参加に強く影響しており、他方、日本では、健康要因と友人などとの社会関係といった個人的な要因の影響が強く、かなりの違いが見られた。この違いの理由については、以下のように解釈できる。中国では経済成長が著しく、それに伴って経済発展が著しい都市部への人口移動が活発に行われている。このような人口移動に伴って都市部における地域環境が激変していることが、中国の都市部においては、地域環境の要因が組織的な活動に影響していること背景にあると見ることが出来る。他方、日本では、安定成長期にあり、都市部においても人口移動は乏しく、地域環境は比較的安定している。その結果として、組織的な活動への参加に対しては、地域というよりも健康や友人との関係といった個人的な要因の影響が大きく作用したと見ることが出来る。いずれにしても、社会参加の推進・阻害要因が同じアジア地域である日本と中国の都市部の高齢者では異なる可能性があるため、それぞれの国における社会参加の推進・阻害要因の研究の蓄積とそれを踏まえた施策の構築が必要といえよう。

参考文献

- 1) 中国国家统计局：2010年第6次全国国勢調査主要データ官報
(<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/6rp/index.htm>) (2011)
- 2) 内閣府経済社会総合研究所：中国の人口高齢化-進行の趨勢、経済への影響および政策-
(http://www.esri.go.jp/jp/prj/int_prj/2011/prj2011_01.html) (2012)
- 3) 平均寿命ランキング・男女国別順位 - WHO 世界保健統計 2014 年版
(http://memorva.jp/ranking/unfpa/who_whs_2014_life_expectancy.php) (2014)
- 4) 奥山正司：高齢者の社会参加とコミュニティづくり. 社会老年学, 24 : 67-82 (1986).
- 5) 宇良千秋：高齢者の社会参加の促進・阻害要因. 老年精神医学雑誌, 14 (7) : 884-888 (2003).
- 6) 松岡英子：高齢者の社会参加と関連要因. 老年社会科学, 14 : 15-23 (1992).
- 7) 西下彰俊：老化の社会学的理論：社会参加. 長寿科学研究エンサイクロペディア情報開発事業報告書, 1006-1007 (1997).
- 8) 玉腰暁子, 他：高齢者における社会活動の事態. 日本公衛誌, 42 (10) : 888-896 (1995).
- 9) 橋本修二, 他：高齢者における社会活動状況の指標の開発. 日本公衛誌, 44(10) : 760-767 (1997).
- 10) 小林江里香：高齢者の社会参加の多様性-男女差と地域差の視点から-. 老年社会科学, 30 (2) : 196-197 (2008).
- 11) 井戸正代, 他：高齢者における社会活動の事態. 日本公衛誌, 44 (12) : 894-900 (1997).
- 12) 片桐恵子：退職後の社会参加. 老年社会科学, 34 (3) : 431-439 (2012).
- 13) 岡山秀明：高齢者における社会活動の促進・阻害要因の検討-独居・要介護・在日韓国人高齢者のインタビュー-調査から-. 社会福祉学, 48 (4) : 146-160 (2008).
- 14) 郭沧萍, 王高：论“老有所为”问题及其研究方法. 老龄问题研究, 6 : 22 (1991).
- 15) 李瑞德：社会参与：构建老年资本的重要途径-以一个微观社会学的视角-. 老龄问题研究论文集 (十) - 积极老龄化研究之二, 227-233 (2006).
- 16) 韩青松：老年社会参与的现状、问题及对策. 南京人口管理干部学院学报, 23(4) : 41-44 (2007).
- 17) 杨宗传：再论老年人口的社会参与. 武汉大学学报. 2000 (1).
- 18) 佐藤秀紀, 他：地域在宅高齢者の社会活動に関連する要因. 厚生指標, 48 (11) : 12-21 (2001).
- 19) 金貞任, 新開昇二, 熊谷修, 他：地域中高年者の社会参加の現状とその関連要因-埼玉県鳩山町の調査から-. 日本公衛誌, 51 (5) : 322-333 (2004).
- 20) 李相倫, 新開省二, 藤原佳典, 他：2年間の追跡研究による中高年の社会活動の変化に関連する要因. 老年社会科学, 28 (2) : 263 (2006).
- 21) 片桐恵子, 菅原育子：社会参加と地域への溶け込みの関連-地域での社会的ネットワークの及ぼす影響に着目して-. 応用老年学, 4 (1) : 40-50 (2010).
- 22) 岡山秀明, 岡田進一, 白澤政和：大都市居住高齢者の社会活動に関連する要因-身体、心理、社会・環境的要因から-. 日本公衛誌, 53 (7) : 504-515 (2006).
- 23) 岡山秀明：都市部在住高齢者の社会活動に関連する要因の検討-地域におけるつながりづくりと社会的孤立の予防に向けて-. 社会福祉学, 53 (3) : 3-17 (2012).
- 24) 小川まどか, 針金まゆみ, 他：高齢者の社会的活動への参加状況と妨害要因との関連. 老年社会科学, 26 (2) : 225 (2004).
- 25) 細川徹, 坪野吉孝, 辻一郎, 他：拡大 ADL 尺度による機能的状態の評価-(1) 地域高齢者-. 日本リハビリテーション医学会誌, 31(6) : 399-408 (1994).
- 26) 細川徹, 坪野吉孝, 辻一郎, 他：拡大 ADL 尺度による機能的状態の評価-(2) 在宅脳卒中患者-. 日本リハビリテーション医学会誌, 31(7) : 475-482 (1994).
- 27) 社会連帯の形成・維持機構の解明研究班：地域環境に対する住民の評価に関する調査-足立区における調査結果の概要- (<http://www7.obirin.ac.jp/kareiken/report20120209.pdf>) (2012)
- 28) 橋本剛：対人ストレス-尺度の開発. 人文論集, 56(1) : 45-71 (2005).
- 29) 藤原房子：高齢者ボランティアと地域縁-男と女-. 高齢者の労働とライフデザイン, 149-165 (1993).
- 30) Wilson RS, Bennett DB, Beckett LA, et al. : Cognitive activity in older persons from a geographically defined population. J Gerontology, 54B:155-160 (1999).
- 31) 安田節之：大都市近郊の団地における高齢者の人間関係量と地域参加. 老年社会科学, 28 (4) : 450-463 (2007).
- 32) 金貞任：高齢者の社会参加とその関連要因. 日米高齢者保健福祉学会誌, 2 : 49-60 (2007).